

平成15年度 国有林野事業の決算概要について

平成16年9月
林 野 庁

平成15年度における国有林野事業については、森林の公益的機能の発揮と財務の健全性の回復に努めた結果、出資金承継損による損失の増加があったものの、新規借入金的大幅な圧縮など収支が改善し、抜本的改革の着実な推進が図られている。

1 収支

(収入)

- ① 事業収入については、長引く木材価格の低迷、土地需要の減退等の中にあつて、木材の販路拡大、資産の徹底した見直しによる土地の売払を進めるなど収入の確保に努力したものの前年度より32億円減少
- ② 一般会計より受入については、事業施設費の受入増加等から前年度より155億円増加
- ③ 借入金については、新規借入金は前年度より122億円減少

(支出)

- ④ 人件費については、職員数の適正化に努め前年度より83億円減少
- ⑤ 事業的経費については、地球温暖化防止等に資する森林整備を推進したため、前年度より53億円増加
- ⑥ 利子・償還金については、国有林野事業特別会計で負担する累積債務に係る償還金（借換により対応）の増加のため、前年度より331億円増加

こうしたことから、収入3,246億円に対し、支出は3,211億円となり、平成15年度の収支差は+35億円（前年度は+52億円）となった。

2 損益

経費の節減、一般会計より受入の増加等が図られたものの、緑資源公団の出資金承継損85億円により、損益計算上の損失は前年度より10億円増加の506億円となった。